

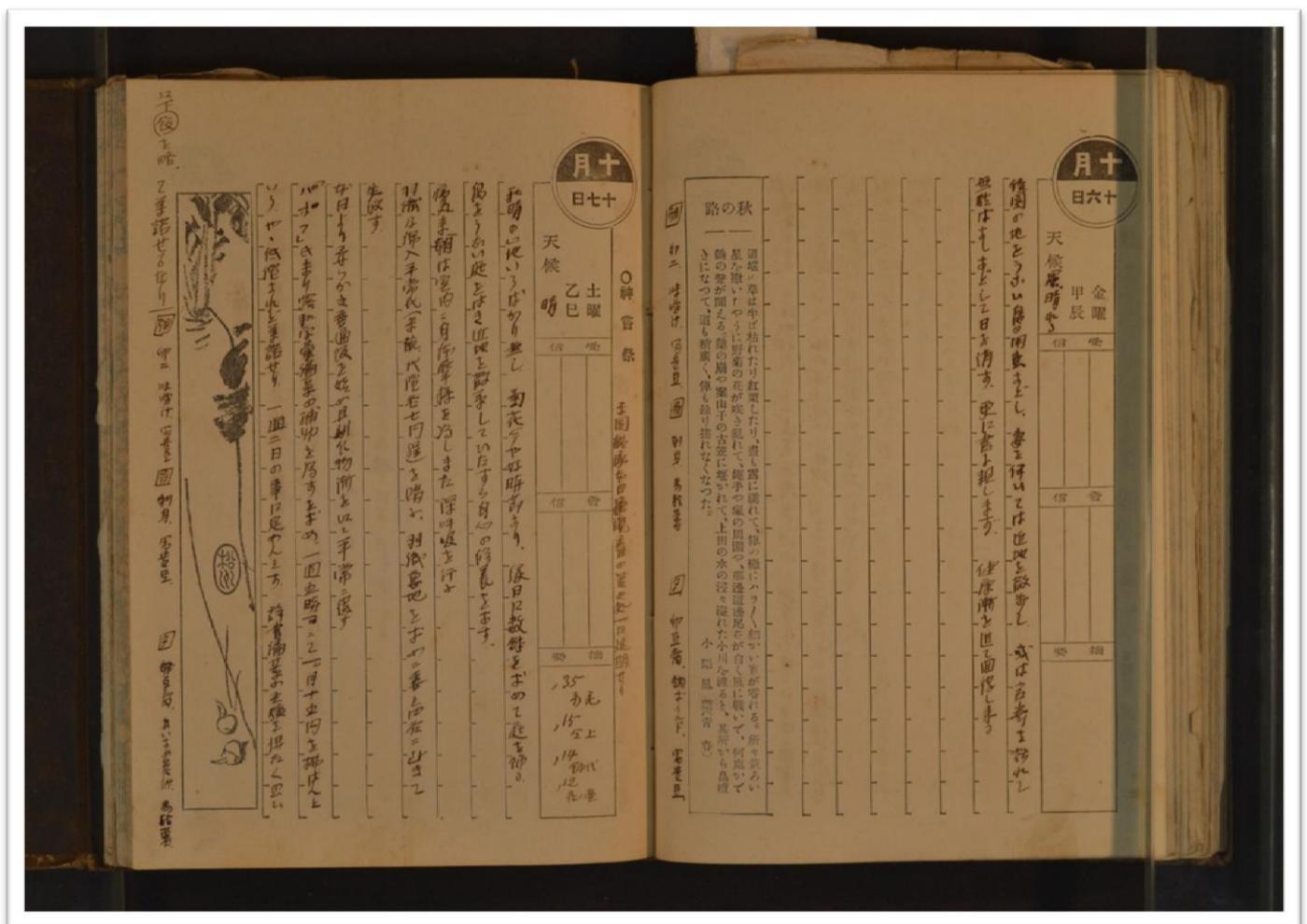
東京外国語大学文書館報

-Tokyo University of Foreign Studies Archives Newsletter-

Contents

府中市との連携事業について…………… 1 頁
大学文書館の保存環境の現状と課題…………… 2 頁

東京外国語大学文書館日誌抄録…………… 3 頁



[写真]八杉貞利日記(明治41年10月17日 露和辞典編纂について)

八杉貞利はロシア留学中の明治36年(1903年)に東京外国語学校教授に任命され、翌年の帰国以来昭和12年の退官まで同校においてロシア語教育に従事しました。昨年、ご遺族より、八杉が明治41年(1908年)～昭和40年(1965年)に記した日記と教授ノート等を寄贈いただきました。

日記の一部は、既に『故山日記』(明治図書出版株式会社、昭和42年。17歳の頃、先祖の郷里である津和野を訪れた際の日記、非売品)や、『ろしや路』(図書新聞社、昭和42年。ロシアやソ連への旅行記)として刊行されていますが、今回の資料群には、未刊行の東京外国語学校在職時と退職後の記録が収められています。

府中市との連携事業について

倉方慶明(東京外国語大学文書館 研究員)

「地方創生」が叫ばれる今日、地域における大学の役割は増大しております。そこで大学文書館では、地域の歴史資料の保存など文書館活動を通じた大学-地方自治体間の「協働」のモデル構築を目指し、平成 28 年度より府中市との連携事業に力を入れています。大学文書館が地域の歴史資料の保存にいかに関与していけるのか、本学文書館では研究と実践の間を模索しつつ、様々な試みに挑戦しています。以下、その一端をご紹介します。

1. 府中市行政文書整理受託事業について

大学文書館では、平成 28 年度より「府中市行政文書調査受託事業」として、府中市の歴史・文化に関する複合文化施設、ふるさと府中歴史館(以下「歴史館」)が保管する歴史的な行政文書の調査・整理を実施しています。

受託事業では、昭和 29 年に府中市へと統合された府中町・多磨村・西府村(1 町 2 村時代)の行政文書を対象に、件名目録の作成を進めています。平成 28・29 年度の 2 年間に、延べ 24 名の学部生・大学院生が作業員として参加しました。学生たちにとって、行政文書の整理作業は、普段なかなか手にすることのない歴史資料に直接触れ、その保存・活用環境の在り方を考える機会となるとともに、「実は身近な」行政文書の持つ歴史的価値を知る機会ともなっています。

2. 連携企画展の開催について

大学文書館と歴史館では、受託事業の活動成果の紹介を目的に、本学の文化祭である外語祭期間中に連携企画展を開催しています。平成 28 年度には「府中市のなかの東京外国語大学」、平成 29 年度には「府中の地域資料の魅力」と題し、受託事業の調査で明らかとなった歴史事象や、現在、府中市で進められている年史編纂事業により新たに発見された資料群について紹介しました。

連携企画展では、歴史館より貸借した行政文書・古文書・古絵図、府中市立中央図書館より貸借した府中市の歴史紹介映像に加え、歴史館の倉庫に眠っていた 30 年前の府中市全図の模型を貸借し展示しました。模型は現在、本学の展示場の目玉の一つとなっています。平成 29 年度の連携企画展には、観覧者数を計測した 3 日間で、延べ 1915 名の観覧者にご来場いただき、盛況な展示会となりました。

また平成 29 年度の連携企画展では、企画展を通じて、行政文書の保存の重要性を考えてもらいたいと願い、「行政文書とは?」というコーナーを設け、行政文書の役割や種類、保存の意義について紹介しました。今後も連携企画展では、単なる歴史紹介に留まらない企画展のあり方を協働して模索していく予定です。



(写真)平成 29 年度連携企画展

3. 府中市職場体験の受入れ

平成 29 年度には府中市職場体験の受入れを実施しました。7 月 3～6 日に府中第二中学校より 4 名の生徒が文書館を訪れ、文書館の業務を体験しました。4 日間の短い期間でしたが、一つの資料群について概要調査、目録作成、簡易な保存措置から始め、資料群の来歴や本学における位置づけ等の調査を経て、最終的には企画展「府中市職場体験企画展」の設営まで行いました。参加した生徒からは「大人がやるような仕事が経験できた」との声もあり、文書館という馴染みのない職場への理解が進んだようです。

本件につきましては簡易報告書を文書館のホームページに掲載しております。御参照下さい。



(写真)平成 29 年度府中市職場体験

以上に加え、平成 30 年 3 月には府中市より古代蓮「大賀蓮」の苗の寄贈を受け、新規プロジェクトに向けた準備を進めています。大学-地方自治体間の「協働」には、発展の余地が残されており、その可能性を探るためにも、今後も様々な活動を進めて行きます。

保存環境の現状と課題

倉方慶明(東京外国語大学文書館 研究員)

大学文書館では平成 24 年の発足以来、保存環境の整備を進めて来ました。平成 28 年、大学文書館が国立公文書館等の指定を受けたことを機に、その収蔵資料は「特定歴史公文書等」として永久に保存されることとなりました。

指定審査時には、審査要件を満たす保存環境の整備と追加収蔵庫の確保を進め、収蔵庫内の温湿度管理や虫害モニタリング等、IPM の考え方に基づく保存体制の整備を検討してきましたが、現状必ずしも十分に保存環境は整備できていません。保存体制の整備には、多額の予算を必要とし、「平面的にすべて解決しようとするならば、実現不可能であり効率的ではない。だからこそ全体の中で堆積した課題を着実に解決できる方法を計画性を持って、段階的に、かつ柔軟に行うことが求められる」(山田哲好・廣瀬睦「史料館における史料保存活動」(『史料館研究紀要』第 22 号、63 頁))とされています。

そこで大学文書館では、長期的視野に立った保存計画を検討するため、平成 29 年度保存環境の現状と課題を調査・整理するとともに、保存プログラム案の整備に着手しました。以下、保存環境の現状と課題を紹介します。



(写真)第 1 収蔵庫

<収蔵庫>大学文書館の収蔵庫は、教室や研究室のある研究講義棟の 3 階から 5 階に 4 箇所あり、第 1 収蔵庫・第 4 収蔵庫の 2 箇所を特定歴史公文書等の保管庫、第 2 収蔵庫を荷解き室、第 3 収蔵庫を備品置き場として活用しています。

第 1・第 2 収蔵庫には中性紙保存箱を排架するため中量棚を配備し、第 4 収蔵庫(法人文書収蔵庫)は法人文書ファイルを排架するためファイル棚を配備しています。元々収蔵庫としての活用を想定していないこともあり、床の耐荷重等の面から移動式電動棚の配備は難しく、固定式の棚を配備しています。そのため収蔵スペースの追加課題は最大の課題です。また各棚の最下段は床面から 5・10cm 程度の上に位置し、水漏れ等による水害は防止できますが、湿度

の点で必ずしも良好な環境とは言えず、可能な限り利用は控えています。

また第 1・第 2 収蔵庫には天井に水道管が通り、隣室(トイレ)に設置された浄水器(飲料水)の排水口が収蔵庫側に露出した形で設置されている点も課題と言えます。前者については災害時の破裂等による水害が懸念される一方で、その対策には大規模な改修工事或いは別の場所への移動が必要なため、現状主だった対策は採れておりません。後者についても、排水口からの虫の侵入や湿気が懸念され、将来的には配管の改修工事等の検討が必要ですが、現状は①防虫ネットの貼付け、②虫害のモニタリングによる対策を講じています。

<温湿度>各収蔵庫の温湿度は温度 22°C、湿度 55%RH 程度を目安に空調設備・除湿器を適宜稼働しています。また収蔵庫内の外壁部分の壁面には断熱材を整備し、収蔵庫の扉が建物内吹き抜け部分・廊下に面していることから、外気から遮断された環境である一方で、夏期(5 月下旬~10 月頃)に建物全体の温湿度が上昇する際には、その影響を受けやすいという課題もあります。そのため夏期に限定して空調設備・除湿器をほぼ 24 時間体制で稼働するとともに、湿気だまりを防ぐため、適宜扇風機(市販)を稼働しています。

各収蔵庫には温湿度管理を目的に温湿度計(データロガー)を配置するとともに、週 1 回程度研究員・補佐員が温湿度の確認を行っています。

<照明・太陽光対策>照明は紫外線除去済蛍光灯を配備し、飛散防止用カバーを設置しています。また収蔵庫内には窓の設置が無いため太陽光による被害は予想されません。

<消火設備>各収蔵庫には煙感知器が設置され、消火設備として純水ベース消火器が配置してあります。当初、二酸化炭素消火器(ガス式)の配置を検討していましたが、所管の消防署より消防法施行令第 10 条第 2 項第 1 号の規定に基づき、窓のない密室空間(書庫)への二酸化炭素消火器の配備が認められないとの指導を受けたため、設置を断念し、代わりに比較的資料への影響の少ない純水ベースの消火器を配置しています。

<虫害措置>虫害の危険性を把握するために、半年 1 回の虫害モニタリングを実施しています。また各収蔵庫入口には吸着マットを配備し、入室時には外部からの汚れ・虫・ホコリ等を持ち込まないよう配慮しています。



東京外国語大学文書館日誌抄録(2017年4月1日～2018年3月31日)

4.12(水)	文書館会議(第23回)				
4.25(火)	文書館運営委員会(第15回)				
4.26(水)	企画展「学内競漕大会の歴史2017」(7.6迄)				
4.28(金)	高大連携体験授業「1964年の東京オリンピックでの東京外国語大学学生の活躍について」(於:本学、渋谷教育学園中学高等学校)(倉方研究員)				
5.1(月)	文書館運営委員会(第16回)メール審議、				
	5.10迄)				
5.8(月)	イメージ情報業連合会会長・副会長来訪(大会講演の件)(吉田館長、倉方研究員)		10.5(木)		大学「(1.17迄、水3時限、館員ほか担当)企画展「東京外国語大学スペイン語教育120年～外国人講師エスパーダと東京外国語学校～」(11.22迄、展示入替1回)
5.15(月)	ルジタニア会より資料寄贈		10.13(金)		イメージ情報業連合会大会(講演・パネルディスカッション)(吉田館長・倉方研究員)
5.24(水)	多摩地区国立大学等事務局長展示説明		10.16(月)		国立公文書館アーカイブズ研修Ⅲ出席(前期、倉方研究員)
5.31(水)	国立公文書館等フォローアップ調査(内閣府2名来訪)		-10.19(木)		
6.5(月)	イメージ情報業連合会副会長来訪(ISU大会講演の件)(倉方研究員)		10.27(金)		第24回西東京地区国立大学法人等中堅職員研修(講義「大学文書館の役割と活動」及び展示案内、(倉方研究員)
6.6(火)	府中第二中学校教員来訪(職場体験の件)		10.27(金)		「スペイン語120周年記念事業-スペイン語圏の言語・文化・社会」開催(ゴンサロ・ヒメネス・デ・ラ・エスパーダ氏資料群寄贈)、ホームカミングデイ講演(吉田館長)
6.8(木)	全国公文書館長会議出席(倉方研究員)		-10.28(土)		留学生課より国際交流会館地下倉庫保管資料寄贈
6.9(金)	全国公文書館長会議出席(今井副館長、東京外語艇友会より資料寄贈)		10.30(月)		建学150周年記念事業委員会出席(吉田館長、倉方研究員)
6.11(日)	田中忠治先生聞き取り調査(「地域研究」の件)(今井副館長・倉方研究員)		11.8(水)		国立公文書館アーカイブズ研修Ⅲ出席(後期、倉方研究員)
6.15(木)	府中第二中学校生徒来訪(職場体験事前打合せ)		11.13(月)		企画展「府中の地域資料の魅力」(府中市連携企画展、12.22迄)
6.16(金)	スペイン語教育120周年イベント会議出席(以下「スペイン」)(倉方研究員)		-11.17(金)		名桜大学来訪(文書館見学)
6.19(月)	スペイン打合せ(附属図書館展示)(倉方研究員)		11.22(水)		法人文書仮移管・管理状況調査(全課・室対象、1月中迄随時追加実施)
6.22(木)	文書館会議(第24回)		12.1(金)		文書館会議(第25回)
6.26(月)	スペイン打合せ(附属図書館展示)(倉方研究員)・法人文書移管打合せ(総務企画課)(倉方研究員)		12.4(月)		年末年始一斉休業(1.3迄)
6.27(火)	文書館運営委員会(第17回)		-12.11(月)		企画展「新美南吉と東京外国語学校の思い出」開始(1.31迄)
7.3(月)	府中市職場体験(計4日間、府中第二中学校4名)、企画展「府中市職場体験企画展」(9.30迄)		12.21(木)		講演会「新美南吉と東京外国語学校の思い出」(1.20-21 文書館特別開館)
-7.6(木)			12.29(金)		府中市行政文書受託事業(第3回集中整理作業)
7.7(金)	府中市行政文書受託事業(第1回集中整理作業)		1.16(火)		府中市行政文書受託事業(整理作業)
-7.28(金)			1.23(火)		出張(沖縄県庁、公文書館)(倉方研究員)
7.18(火)	文書館運営委員会(第18回)		-2.9(金)		府中市行政文書受託事業(整理作業)
8.1(水)	オープンアカデミー「アーカイブズ実習入門」(計3日間、倉方研究員)		2.14(水)		出張(福岡共同文書館)(倉方研究員)
-8.3(金)			2.15(木)		出張(佐賀県公文書館)(倉方研究員)
8.14(月)	大学夏季一斉休業(8.16迄)		2.20(火)		出張(山口県徳山市中央図書館)・河口昭様聞き取り調査(浅田榮次資料群の件)(倉方研究員)
8.17(木)	八杉貞利資料群寄贈		2.21(水)		
8.25(金)	企画展「東京外国語学校の外国人教師」(9.30迄)		2.22(木)		出張(山口県文書館)(倉方研究員)
8.28(月)	府中市行政文書受託事業(第2回集中整理作業、9-12月追加整理作業員派遣)		2.23(金)		
-9.15(金)			2.24(土)		イメージ情報業連合会副会長来訪(大会の件)(倉方研究員)
9.6(水)	スペイン打合せ(企画展示)		-2.25(日)		府中市行政文書受託事業(整理作業)
9.15(金)	法人文書溶解処分		2.26(月)		
9.20(水)	イメージ情報業連合会副会長来訪(ISU大会講演の件)(吉田館長・倉方研究員)・国立大学文書館情報交換会出席(於:学習院大学)(倉方研究員)		2.27(火)		府中市より古代蓮「大賀蓮」苗寄贈
9.22(金)	法人文書管理研修(各課・室向け)		-3.6(火)		出張(岐阜県歴史資料館)(倉方研究員)
9.25(月)	国立公文書館アーカイブズ研修Ⅲ出席(前期、倉方研究員)		3.7(水)		出張(福島県歴史資料館)(倉方研究員)
-9.29(金)			3.12(月)		出張(京都大学大学文書館)(倉方研究員)
10.4(水)	大学史授業「近代日本のなかの東京外国語		3.13(火)		
			3.14(水)		出張(茨城県立歴史館)(倉方研究員)
			-3.15(木)		企画展「東京外国語学校と部活動の歴史」(5.14迄)
			3.21(水)		府中市行政文書受託事業(整理作業)
			3.23(金)		企画展「東京外国語大学と『学園紛争』」(5.14迄)、展示案内(スペイン語卒業生)
			3.26(火)		
			3.31(土)		

東京外国語大学文書館報 第2号 2018年6月29日発行

編集・発行 東京外国語大学文書館

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 TEL 042-330-5842

E-mail tufsarchives@tufs.ac.jp

URL <http://www.tufs.ac.jp/common/archives/index.html>